

日本共产党市議団ニュース

2013年
6月11日

発行 日本共产党流山市議団

電話・フアツクス
7157-6140

自公政権の復活後、マスコミ等がもてはやした『安倍ノミクス効果』は、国民生活で実感できず、一方で、金利や物価等の上昇が重くのしかかっています。

日本共产党は、来年4月の消費増税の中止や介護保険・生活保護の制度改悪に対決するとともに、憲法を

守り、活かすための協働を広げています。

6月市議会の大争点は、小中学校併設校の在り方です。多くの市民が知らない中で、事業費の大幅増やUR丸投げの入札を進めるることは自治基本条例違反ではないでしょうか。また、議会初日での先議案審査・本会議議決、さらに用地購入やURへの発注承認は追加議案となるなど、前代未聞です。議会運営委員会では、市長派会派の反対はあったものの、委員会日程の変更を決定。異例の対応です。教育の均等や子どもの発育も含め、徹底審議こそ議会の役目です。ぜひ傍聴にお出かけ下さい。

「暴走と破たん」政治にストップを

契約承認（小中併設校）が議題に!!
ぜひ傍聴にお出かけ下さい。

小田桐たかし議員

6月20日（木）午前11時頃

一般質問

1、市長の政治姿勢について

①憲法第96条改定等への市長の政治姿勢を問う。
②流山おおたかの森駅周辺の区画整理事業について
2、東深井市野谷線の安全対策や、十太夫地域のマンション紛争など中部地域のまちづくりについて

3、教育行政について
①小中一貫教育における教育的成果や小中学校の設置状況により生み出される「逆境」等について
②小中学校併設校について、地方自治法（最少の経

会期 6月13日～7月3日 21日間
議案11件、請願1件・陳情7件・発議4件他

- 6月13日（木）本会議 午後10時開議
総務委員会（小中併設校事業費増額補正予算を審査）
18日（火）～20日（木）一般質問 午前10時～
21日（金）一般質問 午前10時～ 終了後、各委員会に議案を付託
24日（月）市民経済委員会
25日（火）教育福祉委員会（小中併設校の説明会開催等を求める陳情と、老朽校舎の調査と対策を求める陳情を審査）
26日（水）総務委員会（小中併設校の用地購入・建設の契約承認議案と、小中併設校建設は市民合意を大切に、慎重な審議を求める陳情を審査）
27日（木）都市建設委員会
28日（金）議会運営委員会（小中併設校に対する慎重審議を求めた陳情を審査）
7月 3日（水）本会議 午後1時開議
議案・請願・陳情・意見書など採択

ぜひ傍聴にお出かけください

市議会議員

いぬい紳一郎
(7159-2773)

市議会議員

小田桐たかし
(7154-0878)

市議会議員

徳増きよ子
(7148-6871)

市議会議員

植田和子
(7154-0288)

いぬい紳一郎議員

6月20日（木）午後3時頃

1、介護保険について

①昨年4月から生活援助の時間短縮等がおこなわれたが、現場での影響について

②高齢者専用賃貸住宅や「お泊りデイサービス」の実態把握と、特別養護老人ホームの待機者ゼロをめざすべきと考えるがどうか。

2、南部地域のまちづくりについて

①流鉄流山線立体交差事業による西平井・鰐ヶ崎地

域の生活環境悪化について他
3、市長の政治姿勢について
①小中併設校建設に対する反対意見が広がっている。拙速な事業促進は、自治基本条例の根幹（市民自

治）を自ら崩すことになると考えるがどうか。

植田和子議員

6月20日（木）午後2時頃

1、教育行政について

①いじめや体罰、「学級崩壊」等の現状と対策

②子どもの生命と人権を守ることを最優先にすることが重要だと考えるがどうか

2、商工業の活性化について

①企業誘致の目標と、そのメリットについて

②産業活性化プランや市内労働者の賃上げについて

③小中併設校建設の発注・契約について

④UR都市機構への「丸投げ」について

⑤事業の透明性、公平性、市の責任の確保について

⑥市民の意見・要望をどのように反映させるのか

⑦「森の俱楽部」利用者の意見・要望の把握と今後の改善について

3、向小金、前ヶ崎地域のぐりーんバス導入について

①生活保護法「改正」案は日本国憲法第25条『無差別平等の原則』を侵すものと捉えるがどうか

②生活保護の申請権侵害にならないための取り組みについて

3、向小金、前ヶ崎地域のぐりーんバス導入について

費で最大の効果を挙げる）規定との整合性や、財政への影響など市長の見解を問う。